

## 保存修復学

責任者・コーディネーター	(主) 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 野田 守 教授 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 浅野 明子 准教授			
担当講座（分野）	歯科保存学講座（う蝕治療学分野）			
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	前期		前期 42.0時間	42.0時間
			後期 —	—

### 学修方針（講義概要等）

保存修復学(operative dentistry)では、口腔治療の対象となる硬組織の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法を講義・実習で段階的に把握する。

### 教育成果（アウトカム）

齲蝕の科学、病態（診査・診断）、接着、修復材料、齲蝕の治療の講義・実習で修復領域を修得する。初診から高頻度歯科臨床の流れとして臨床で求められる口腔治療学の、知識、態度、技能を学修することができる。履修内容に関するフィードバックは掲示・ウェブクラス等で周知する。

（関連するディプロマポリシー：1～6）

### 到達目標（SBOs）

1. 保存修復学の意義と目的について説明できる。
2. 硬組織疾患の治療の特徴について説明できる。
3. 硬組織疾患治療の基本的な手技を実施できる。

### 事前事後学修の具体的内容及び時間

#### 【事前学修】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

#### 【事後学修】

講義、実習で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/8 (火)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>総論・歯の機能・感染 対策</b>  保存修復学の概念、歯 の機能、感染対策につ いて説明できる。	1. 保存修復学の概念と目的を説明で きる。 2. 保存修復学の歴史、変遷を説明で きる。 3. 接着性修復と非接着性修復を説明 できる。 4. 歯の機能と加齢に伴う変化を説明 できる。 5. 感染予防対策を説明できる。 <b>[PS-04、PS-09、B-2-1、C-4-1-2、 D-5-1-1・2・4]</b> 事前学修：歯科理工学の関連知識、 保存修復学第1章Ⅰ、Ⅱ、第2章Ⅲを 読んで理解しておくこと。所要時間 30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	4/8 (火)	3	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Cariology 1</b>  病理・組織学的特徴 エナメル質齲蝕、象牙 質齲蝕、セメント質齲 蝕について説明でき ようになる。	1. 歯の構造と機能、加齢に伴う変化 を説明できる。 2. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、 セメント質齲蝕の発症機序、病態、 進行について病理学的に説明でき る。 <b>[A-2-4-8、D-3-2-1、D-3-2-5、 D-5-2-1-1]</b> 事前学修：保存修復学第1章Ⅲ、第4 章Ⅰ、Ⅱを読み、疑問点を抽出して おく。また事前に提示されたキー ワードについて教科書とその他の参 考書を含めて調べ、予習しておく。 所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。

講義	4/8 (火)	4	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Cariology 2</b>  MID (Minimal Intervention Dentistry)、齲蝕除去の理論について説明できるようにする。	1. 齲蝕歯質において残すべき歯質について説明できる。 2. 急性齲蝕と慢性齲蝕における感染歯質除去理論の違いを説明できる。 3. 齲蝕の検査法について説明できる。 4. エナメル質齲蝕の処置法を説明できる。 5. 象牙質齲蝕の処置法を説明できる。 6. 高齢者における根面う蝕を説明できる。 7. MID (Minimal Intervention Dentistry) について説明できる。 <b>[D-3-2-1、D-5-1-2、D-5-1-4、D-5-1-5、D-5-2-1-1、D-5-2-1-2、E-3-1-2]</b> 事前学修：保存修復学第4章Ⅰ、Ⅱを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	4/22 (火)	2 3	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>非齲蝕性硬組織疾患</b>  非齲蝕性硬組織疾患の病態、対処法を説明できる。	1. 非齲蝕性硬組織疾患を説明できる。 2. 変色歯を説明できる。 3. 象牙質知覚過敏症を説明できる。 4. 歯の漂白法について説明できる。 <b>[D-5-2-1-1、E-3-1-2]</b> 事前学習：保存修復学第4章Ⅲを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	4/22 (火)	4	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>硬組織の検査法、硬組織の切削</b>  硬組織の検査法、硬組織切削の手技、器具を説明できるようになる。	1. 硬組織の検査法を説明できる。 2. 硬組織の切削法を列挙できる。 3. 手用切削器具を説明できる。 4. 回転切削器械を説明できる。 5. バー・ポイントを説明できる。 6. 歯科用レーザーによる硬組織切削について説明できる。 7. 音波、超音波切削について説明できる。 8. 齶蝕の化学的溶解について説明できる。 <b>[PS-07、B-3-1、B-3-2、D-2-2-1]</b> 事前学修：第4章IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/13 (火)	2	北條友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>象牙質・歯髄複合体の保護</b>  象牙質・歯髄複合体について説明できるようになる。 アマルガム修復とその除去について説明できるようになる。	1. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。 2. 歯髄障害の要因について説明できる。 3. 象牙質・歯髄保護法について説明できる。 <b>[D-5-2-1-5]</b> 事前学修：第4章VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/20 (火)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>窩洞の分類1</b>  窩洞形態に関する諸条件について説明できるようになる。窩洞の名称、分類について説明できるようになる。	1. 窩洞の分類を説明できる。 2. 窩洞の具備すべき条件を説明できる。 <b>[D-5-2-1-6]</b> 事前学修：保存修復学第4章V、VIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	5/27 (火)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>窩洞の分類2</b> 窩洞形態に関する諸条件について説明できるようになる。窩洞の名称、分類について説明できるようになる。	1. メタルインレー窩洞をデザインできる。 2. 材料と窩洞形態の特徴を説明できる。 <b>[D-5-2-1-3、D-5-2-1-6]</b> 事前学修：保存修復学第4章V，VIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
演習	6/3 (火)	2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>中間試験</b>	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
講義	6/17 (火)	2	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>修復の補助法</b> 修復の補助法について説明できるようになる。	1. 歯間分離について説明できる。 2. 歯肉圧排について説明できる。 3. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 4. 隔壁の目的、種類、および特徴を説明できる。 5. クサビの目的、種類、および特徴を説明できる。 6. 歯肉圧排に用いる器具の特徴を説明できる。 7. リテーナーについて目的、種類、および特徴を説明できる。 8. 防湿法についての歯科治療について説明できるようになる。 9. 除痛法について説明できる。 <b>[D-1-2-1-1、D-1-2-1-2、D-5-2-1-4]</b> 事前学修：第4章VIIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	6/17 (火)	3	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>接着歯学</b>  レジンの接着システム について説明できるよ うになる。	1. エナメル質、象牙質それぞれの 接着について説明できる。 2. ハイブリッド層（樹脂含侵層） について説明できる。 3. 各種接着システムのメカニズム の違いについて説明できる。 4. 各種プライマーについて説明でき る。 <b>[B-2-1、B-2-3、D-5-2-1-3]</b> 事前学修：保存修復学第5章Ⅰ、Ⅱ を読み、疑問点を抽出しておく。ま た事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。所要時間30 分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	6/17 (火)	4	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>グラスアイオノマー修 復、アマルガム修復</b>  修復用のグラスアイオ ノマー、アマルガムに ついて説明できる。	1. 従来型、レジン添加型グラスア イオノマーセメントの硬化機序を説 明できる。 2. 酒石酸について説明できる。 3. 感水、離水について説明でき る。 4. グラスアイオノマーセメントの 利点、欠点について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメントの 歯質との接着について説明できる。 6. グラスアイオノマーセメントと 他セメントとの比較ができる。 7. グラスアイオノマーセメント修 復の術式について説明できる。 8. グラスアイオノマーセメントの 適応症、禁忌症について説明でき る。 9. アマルガム修復の取扱について説 明できる。 <b>[B-2-1、B-2-3、D-5-2-1-3]</b> 事前学修：保存修復学第5章Ⅲ、Ⅳ を読み、疑問点を抽出しておく。ま た事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。要時間30分 程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。

講義	7/1 (火)	2	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>コンポジットレジン修復1</b>  コンポジットレジンの組成と特徴について説明できるようになる。	1. MMA系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器（ハロゲン照射器、LED照射器）について説明できる。 5. 材料の化学的構造を理解し図示できる。 6. 修復用コンポジットレジン进行分类できる。 7. フィラーについて説明できる。 8. コンポジットレジンの問題点と対処法について説明できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。 <b>[B-2-1、B-2-3、D-5-2-1-3]</b> 事前学修：保存修復学第5章Ⅰ、Ⅱを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	7/1 (火)	3	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>コンポジットレジン修復2</b>  コンポジットレジンの術式、適応症、既往症について説明できるようになる。	1. コンポジットレジン修復の術式を説明できる。 2. コンポジットレジン修復の適応症を説明できる。 3. コンポジットレジン修復の禁忌症を説明できる。 4. トンネル修復について説明できる。 5. 可視光線照射器（ハロゲン照射器、LED照射器）について説明できる。 <b>[B-2-1、B-2-3、D-5-2-1-3]</b> 事前学習：保存修復学 第5章Ⅰ、Ⅱを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	7/1 (火)	4	東 兼司助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>間接修復の合着、接着セメント</b>  歯科用セメントの基礎的物性の評価法について説明できるようになる。	1. セメントの種類、特徴および用途を説明できる。 2. セメントのJIS規格を説明できる。 3. リン酸亜鉛セメントの特徴を説明できる。 4. ポリカルボキシレートセメントの特徴を説明できる。 5. EBAセメントの特徴を説明できる。 6. レジン系セメントの特徴を説明できる。 7. その他の歯科用セメントを分類できる。 8. 合着用セメントの歯髄刺激を説明できる。 <b>[B-2-1、B-2-3、D-5-2-1-3]</b> 事前学修：保存修復学第6章I、IIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	7/15 (火)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>間接修復メタルインレー</b>  メタルインレー修復について説明できるようになる。	1. メタルインレー窩洞の形成理論を説明できる。 2. 鑄造修復の診療室および技工操作の流れを説明できる。 3. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 4. 鑄造欠陥について説明できる。 5. メタルインレー修復後の不fast事項について説明できる。 <b>[B-2-1、B-3-1、D-5-2-1-7]</b> 事前学修：歯科理工学の関連領域、保存修復学第6章IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	7/15 (火)	3	<p>浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)</p>	<p><b>コンポジットレジンインレー修復、セラミックインレー修復、CAD/CAM修復</b></p> <p>間接法による審美修復の特徴と術式について説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レジンインレー修復の術式、特徴を説明できる。</li> <li>2. レジンインレーの窩洞形成について説明できる。</li> <li>3. クレビスについて説明できる。</li> <li>4. コンポジットレジン修復とレジンインレー修復について比較、説明できる。</li> <li>5. レジンコーティング法について説明できる。</li> <li>6. セラミックインレーについて説明できる。</li> <li>7. CAD/CAMについて説明できる。</li> </ol> <p><b>[ B-2-1 、 B-3-1、 B-3-4 、 D-5-2-1-7 ]</b></p> <p>事前学修：保存修復学 第6章V、VI、VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。要時間30分程度。</p> <p>事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	7/15 (火)	4	<p>梶村幸市非常勤講師</p>	<p><b>審美修復、ベニア</b></p> <p>審美治療について説明できる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベニア修復の特徴について説明できる。</li> <li>2. ベニア修復の適応症について説明できる。</li> <li>3. 最新の審美修復について説明できる。</li> <li>4. 術後の経過と管理を説明できる。</li> </ol> <p><b>[ B-2-1 、 B-2-3 、 B-3-4 、 D-3-2-1 、 D-5-2-1-3 、 D-5-2-1-8 ]</b></p> <p>事前学修：保存修復学 第6章VIIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。要時間30分程度。</p> <p>事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

講義	7/22 (火)	2	北條友宣助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>高齢者・補修修復</b> 保存修復における高齢者の特徴と有病者の修復法について説明できるようになる。修復治療の術後管理について説明できるようになる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の齶蝕について説明できる。 3. 高齢者の修復法について説明できる。 4. 有病者の修復法について説明できる。 5. 切削時の有病者への配慮を説明できる。 6. 在宅医療における歯科治療について説明できる。 7. 補修修復について説明できる。 8. 修復治療後のメンテナンスについて説明できる。 <b>[CS-06、C-4-1-2、D-5-1-4、D-5-1-5、D-5-2-1-8]</b> 事前学修：第7章、第8章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	8/26 (火)	2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>修復臨床ケースから学ぶPBL形式</b> 提示された修復症例に対する的確な診断、治療法の選択、治療に用いる器具を用意できるようになる。	1. 提示された症例に対して、的確な診査ができる。 2. 提示された症例に対する的確な診断ができる。 3. 患者背景も考慮した治療法を選択できる。 4. 治療に用いる器具を用意できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るように纏めておく。 <b>[D-5-2-1全般]</b> 事前学修：有病者に対する歯科治療についてインターネットなどで調べ予習しておく。要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

## 実習日程表

実習	4/15 (火)	2 3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>診療姿勢 ルーペの使用 方法 切削器具の 使い方</b>  シュミレーター実習でルーペを装着し正しい姿勢で人工歯の高速切削器具での形成ができるようになる。	1. 適切な診療姿勢をとることができる。 2. ホームポジションをとることができる。 3. ハンドピースの3種の持ち方ができる。 4. 正しくレストをおくことができる。 5. 窩洞形成器具の作動様式と切削方法を理解したうえで、実際に人工歯の齶蝕を除去できる。 6. ルーペの調整と装着して形成ができる。 <b>[E-5-1-1, E-5-1-2]</b> 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	5/14 (水)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>ラバーダム防湿① 間接覆髄</b>  ラバーダム防湿の基本的な手技を身に着けたうえで、歯髄保存療法を行うことができる。	1. 1歯のラバーダム防湿を行うことができる。 2. ラバーダム防湿下で人工歯を用いて齶蝕除去を行い、間接覆髄の手技を実施できる。  <b>[E-1-1-1, E-1-1-2, E-1-1-3, E-5-1]</b> 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	5/14 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>ラバーダム防湿② V級コンポジットレジン、 ガラスアイオノマーセメント充填</b>  応用的なラバーダム防湿の手技を身に着け、コンポジットレジン、ガラスアイオノマーセメントに適した窩洞形成を行い、充填操作ができるようになる。	1. 多数歯ラバーダム防湿を行うことができる。 2. 上顎前歯にV級コンポジットレジン窩洞を形成、充填することができる。 3. 下顎前歯部にV級ガラスアイオノマーセメント窩洞を形成、充填できる。  [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-1] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/10 (火)	2 3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Ⅲ・Ⅳ級コンポジットレジン修復</b>  シュミレーターで上顎前歯にⅢ級・Ⅳ級のコンポジットレジン充填を行うことができる。	1. 上顎前歯にⅢ、Ⅳ級コンポジットレジン充填を行うことができる。 2. 欠損部の解剖学的形態を回復することができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-2] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/24 (火)	2 3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Ⅱ級コンポジットレジン修復</b>  シュミレーターで上顎小臼歯のⅡ級コンポジットレジン充填ができるようになる。	1. 上顎小臼歯にⅡ級コンポジットレジン窩洞を形成できる。 2. Ⅱ級コンポジットレジン充填時に隔壁を設置することができる。 3. Ⅱ級コンポジットレジン充填を行うことができる。  [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-2] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	7/8 (火)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Ⅱ級メタルインレー修復</b> 下顎大臼歯にⅡ級メタルインレー窩洞形成ができるようになる。	1. ボックス型Ⅱ級メタルインレーの窩洞形成ができる。  [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-5] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	7/8 (火)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>Ⅱ級レジンインレー修復</b> シュミレーターでレジンインレー、セラミックインレーの窩洞形成を行うことができる。	1. レジンインレー窩洞を形成できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-5] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	7/22 (火)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>補修、Ⅰ級コンポジットレジン修復</b>  補修修復を想定したV級修復ができる。また、Ⅰ級コンポジットレジンを審美的に配慮した形態を付与できる。	1. 補修修復を想定したV級修復ができる。 2. Ⅰ級コンポジットレジンの窩洞形成と修復ができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-1] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	8/26 (火)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	<b>実習試験</b>  与えられた臨床課題をシミュレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-1] 事前学習：保存修復学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	保存修復学 7版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2019年
教	保存修復学21 6版	田上順次ほか監修	永末書店	2022年
教	保存修復クリニカルガイド 第2版 Web動画付き	千田彰ほか編	医歯薬出版	2025年

## 成績評価方法・基準・配点割合等

講義（65点以上で合格）：中間筆記試験、最終筆記試験の総合評価

実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）の総合評価

講義と実習が両者とも合格した場合のみ、合格とする。

備考

実習：すべての実習に態度良好で出席すること、すべての提出物を提出すること、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

本実習では、実習に関する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価する。

講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試は原則として各領域65点以上を合格とする。

## 特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

アクティブ・ラーニングを実施するために、TxADの各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に扱う各内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して逐次確認する。講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。

学生参加型講義を実施するために、各担当者は過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESSお試し演習）として演習前日までに設定する。各学生は事前学修教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに接続できるよう予め接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、事前学修済み教材を活用し事後学修を必ず行なうこと。

小テストや中間試験を分析してさらなる学修が必要な項目について、講義時間内あるいは掲示にてフィードバックを行う。

当該科目に関連する実務教員の有無… 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

## 授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的